

(106)

東京都立小台橋高校 ④



ICTの活用が進んだ授業の様子

令和の時代に「教育のDX」を実現
ふさわしい学び

本校は令和4年4月に、都内6校目のチャレンジスクールとして開校しました。不登校や中途退学などで、これまでの学校生活では個性や能力等を十分に発揮できなかった生徒でも、一人一人が安心して存分に学ぶことができるときと場を提供しています。

設置系列は、映像やマムで学べる「人文・自然・ケテイング」などの最先端技術を学ぶ「情報・ビジネス系列」、創作活動「人文・自然系列」は、表現活動を通じて豊かな感性・表現力を身に付ける「アート・デザイン系列」、国公立大学進学にも対応したキャリア

「人文・自然系列」は、映像やマムで学べる「人文・自然・ケテイング」などの最先端技術を学ぶ「情報・ビジネス系列」、創作活動「人文・自然系列」は、表現活動を通じて豊かな感性・表現力を身に付ける「アート・デザイン系列」、国公立大学進学にも対応したキャリア

京都の「TOKYOデジタリイディングハイスクール研究指定校」としての特徴を紹介いたします。

入学生徒は全員2In1パソコンを購入し、クラウドサービスの活用が促進されています。ICT環境は整っており、校内Wi-Fiはもちろん、動画編集を希望する生徒のための「グリーンバックを完備したデザイン実習室」も設置されています。

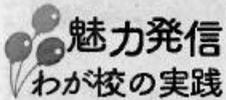
現在は仮設校舎ですが、令和8年度より本設校舎での教育活動がスタートします。チャレンジスクールとしての「優しさ」とデジタルリーディングハイスクールとしての「新しい学び」を加速させるための改修工事が現在も行われています。

相談体制整え、安心できる環境で学ぶ

校舎は、近隣の施設各々である小台橋に由来します。自他の懸け橋となり、母体社会の一員として自立する姿を目指したものです。

その一例として、本校では入学直後の1カ月を利用して、人間関係づくりを円滑にするための「交流プログラム」を実施し

東京都立小台橋高校 ⑤



(107)



開放的なつくりになっている職員室のイメージ

ています。入学時のガイダンスと新入生全員の面談後、他人とのコミュニケーションを向上させることを大きなテーマと

の理解を深める学習に取り組んでいます。「友達ができるか不安だったけど、授業の中で自然にクラスメイトとの交流が生まれたので安心できた」など、多くの声が生徒から上がっています。

話に耳を傾ける方法、公共の時間では感情をマネジメントする方法、保健ではストレスはストレスチャージャーやユースリシヤルワーカーが参加し、生徒情報の共有を図り、学校全体として問題解決に取り組みんでいます。職員室はオープンスペースとなっており、生徒と

このようにして「心の健康面を支援する体制」つまり「教育相談の体制」が整っているのも、本校の大きな特徴です。

毎週定例で開催している教育相談委員会には、クラス担任や教育相談担当の教員、スクールカウンセラーやユースリシヤルワーカーが参加し、生徒情報の共有を図り、学校全体として問題解決に取り組みんでいます。職員室はオープンスペースとなっており、生徒と